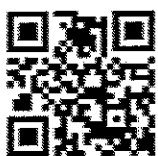


令和五年度における事業並びに財務状
況の報告をします。また、自己評価・学校
評価を掲示して情報公開します。
ホームページからも閲覧可能です。

期間令和六年五月三十日より

学校法人 藤田学園 藤田幼稚園

理事長・園長 藤田道信



令和5年度の教育活動等に対する学校評価

令和6年3月23日

学校法人藤田学園藤田幼稚園長 藤田道信

学校法人藤田学園藤田幼稚園学校関係者評価委員会

1 幼稚園の教育目標

人間の一生で無限の可能性に富み、人格形成に大きく影響を及ぼす幼児教育は何事においても大切な時期である。集団生活の中で幼児としてより多くの遊びの中で体験を積み重ね「富士山のように」1.じょうぶでねばりつよい子 2.ゆたかなこころの子 3.どりよくしてつくりだしていく子 4.すすんでとりくめる子を目指し、やがて次代を担う、たくましい人間、豊かな心をもって大きくはばたく人間育成を目標とする。

2 本年度の重点課題

- ① 少子化にあって充実した保育運営の取り組み
- ② 教職員の資質向上
- ③ 保護者及び地域に期待される教育機関
- ④ コロナ対策と教育内容の見直しと再編成
- ⑤ 保育園の民間移管

3 評価項目の達成及び取組状況

結果・評価 A：十分に成果があった B：成果があった
 C：少し成果があった D：取り組みが不十分である

評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
	評価点	取組・反省と改善策	評価点	評価・意見
① 少子化にあって充実した保育運営の取り組み	A	集団生活での子ども同士の育ち合いを追求する幼稚園教育の在り方と同時に少子化で叶うきめ細やかな個々への対応が充実してきていることを感じる。増々、両立をしていきたい。	A	集団生活における、社会性や協同性は将来に向けて重要であり。また個々の自立心や道徳性、自己肯定感は大変な育ちであることから、少子化であるが故に個々への対応がより充実してきたと思う。
② 教職員の資質向上	B	処遇改善と合間って、研修意識は高まっているが、実際に多忙な業務における研修活動は実質的に難しい。個々でできるスキルアップ研修の提案ができると良いと思う。	B	教職員は、現場での悩みや知識・方法など思考と技術の向上を求めているが、なかなかその時間と場所の確保が就業中には難しい事が分かった。園内研修などよりカジュアルにできると良いと思う。
③ 保護者及び地域に期待される教育機関	A	今年度はコロナが五類型になり、様々な地域行事の規制緩和が進み、そ	A	藤田幼稚園が地域の中に戻ってきたと感じた。大淵地区文化祭では作品は優秀賞、ま

		<p>れまで中断していた活動に参加できた。また、保護者もその活動の中地域社会との関わりを持てる機会が再開された。今年も、大淵地区文化祭・幼年消防クラブと消防団との防火防災啓発・幼小連携・運動会の規制緩和・農業体験等、出来る限りの活動を実践した。これから、また新たな取り組みなどを想像していくチャンス・チャレンジの機会となると感じている。</p>		<p>た演技では合唱合奏ができた。また、消防祭りの演技、第12分団消防団員と街頭で火災予防を呼びかけ、農業体験やお茶うがい等、大勢の保護者や地域住民のまえて披露し活躍する幼児達の健やかな元気な姿が、地域活性化の弾みになったこと、なっていたことを改めて実感した。これからも、地域とある園として期待し、社会で子ども達を育てる大切さを発信し続けてほしいと思う。</p>
④ コロナ対策と教育内容の見直しと再編成	B	<p>コロナ禍で失われ、忘れられた人々の行動様式や思考、協調性、協同性といった内面の人間性と同時に社会行事等の形式や段取りの忘却。幼稚園でも各種行事の取り組み方が過去と現在のリスクと果実が混同する事で教職員は非常に悩み困惑しながらこの1年を送ってきた。答えが無い中、本当に頑張ってきたと思う。保護者様も不安の中、本当に理解協力をしてくださり、感謝しかない。来年度も課題として取り組む事は多いと思う。</p>	A	<p>コロナ対策から解放された感と同時に不安感がぬぐえない中、ひとり一人の感じ方やルール、社会規範が生まれた事を感じている。特にその価値観で個性というより個人主義的な社会が進んでいる事もコロナだけでなく感じる事が多くなった時代と思う。幼稚園に期待する事は、そういった不安な保護者や社会に対し何らかの方向性を示す事が今後期待されると思う。しかし、それは大変な勇気や忍耐が伴う事だと思う。今後も大変ですがよろしくお祈りします。</p>
⑤ 保育園の民間移管	B	<p>本年度、民間移管に立候補し様々な審査を受け、その結果、本学に移管先が決定された記念する年度になった。これからも令和8年度の完全移管に向かって、しっかりと準備し実行することが重要である。大淵の乳幼児の教育保育の為の本学の全力をもってこの事業に粉骨邁進する所存であります。</p>	B	<p>大淵地区の乳幼児教育の推進発展の為、民間移管に臨まれた法人役員の皆様また教職員の皆様には是非ともこの事業の実現に取り組んで行ってほしいと思います。これから大淵二小も一小と合併し、小中一貫教育も始まり、地域のまちづくりも大きく変わる大淵地区だと思えますので、未来に向けて子ども達の為によりしくお祈りします。</p>

財務状況 B	施設型給付園になり、財務状況大きく改善された。少子化にともなう園児減少は今後も加速している事、地域や個々の子育てニーズの多様化、また社会の経済状況を踏まえた経営を進めていかなければならない。それには行政担当部局と連携を十分にとって進めることが重要である。
----------------------	---

4 本年度の重点課題の総合的な評価結果

本年度の教育目標である「おおらかに のびのびと いろんなことに取り組み 学び育ち合う子」を実践してきました。日々の教育保育を通じ、子ども達が自ら関わり合い、協力し、知恵を出しあい、仲間とその目標や課題に向かって取り組み、励まし合い、達成感を味わい、共有することを通じ認め合い、非認知力・自己肯定感を育めるように環境を整え取り組んできました。

その取り組みを実現するため、また将来性を鑑み、本年度は以下の重点目標かがけ進めてまいりました。

- ① 少子化にあって充実した保育運営の取り組み
- ② 教職員の資質向上。
- ③ 保護者及び地域に期待される教育機関
- ④ コロナ対策と教育内容の見直しと再編成
- ⑤ 保育園の民間移管

この5つの目標をもとに経営・教育保育の両面から思考と実践を重ね、教育環境の充実を図る事が重要な課題であり、より安心安定した保育活動が適切に行われるよう、目標の成果及び反省から改めて自覚できた事はお大きな成果でありました。

そのような実践を踏まえ、引き続き以下の事項について取り組んでいきます。

- ① 経営基盤強化にともなう施設給付内容の取り組み。
- ② 教職員の資質向上と処遇改善・有能な教職員確保の取り組み。
- ③ 保護者の理解・協力への取り組み。
- ④ 施設設備の充実と機能の向上は、気候変化・老朽化・環境衛生上等の取り組み。
- ⑤ 少子化に伴う取り組み。
- ㊦ 中野保育園民間移管の取り組み

5 来年度、取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
経営基盤の強化	新制度における、給付制度の内容実務の理解を深め、適切な経営運営ができるよう努める。
教職員の資質向上と人材確保	ひとり一人の教師が負担無い環境でスキルアップができる工夫と処遇改善への取り組みと共に今後に向けての人材確保を進める。
保護者及び地域に期待される教育機関	規制緩和が進み地域活動が活発化が予想される、園児や保護者また教職員が楽しみながら地域に貢献できる事。また、子育てに支援への取り組みを充実する。

コロナ対策と教育内容の見直しと再編成	令和5年度の実践を踏まえ、コロナ禍で変遷された様々な事業を再々検討し、再編成しながら教育内容の充実を図るとともに保護者の理解協力を得ていく事を大切に進めていく。
保育園の民間移管	令和8年度完全移管に向けて、令和6年度の計画を確実に進める。関係者への十分な周知と理解を求めていく。

6 学校関係者評価委員さんからのコメント（抜粋）

- ・1年間ご苦労様でした。コロナも緩和され色々取り組み、しかし理解されることばかりではないと思いますが、頑張ってください。藤田幼稚園らしさを忘れないでください。
- ・他市から引っ越しされた方が、藤田幼稚園の評判を聞き、ここに家を求めたと言っていて大変うれしかったです。卒園児としても感動しました。
- ・今年は、大淵第2小学校が1小に併合され、来年度以降も小中一貫教育、またこれから中野保育園民間移管と私たちの周りで学校や幼稚園がこんなにも変貌していくんだと驚きました。こんな驚きや不安を地域やみんなと共有していかなければと思いました。情報はいつも幼稚園からあり私たちも助かります。
- ・大淵地区まちづくり協議会も今後大きく変化していくようです。法人化における地域住民主体の組織になり、今まで以上に幼稚園や子ども達に期待する事が増えるかもしれませんね。
- ・少子化がこんなにも進んでいる事は私は実感していませんでした。昨年も少子化といわれ、それにまして加速している事や、若者が定着しない地域になっていることが怖いです。
- ・幼稚園の実態が本当に情報源であることをもっと活用したらいいですね。



令和5年度 学校法人藤田学園 藤田幼稚園 情報公開

財務状況

【資金収支計算書】

科目	決算額
収入の部	
学生生徒等納付金収入	1,127,500
寄付金収入	0
補助金収入	81,309,940
付随事業(補助活動収入)	7,060,925
受取利息・配当金収入	2,192
雑収入	1,069,567
借入金等収入	0
前受金収入	0
その他の収入	2,584,948
資産売却収入	0
資金収入調整勘定	△ 3,654,942
前年度繰越支払資金	25,854,349
収入の部合計	115,354,479

【事業活動計算書】

科目	決算額
教育活動収支の部	
学生生徒等納付金	1,127,500
寄付金	0
補助金	80,959,940
付随事業収入	7,060,925
雑収入	1,069,567
その他収入	0
教育活動収入計	90,217,932
教育活動支出計	90,917,547
教育活動収支差額	△ 699,615
教育活動外収支の部	
教育活動外収入計	2,192
教育活動外支出計	59,768
教育活動外支出差額	△ 57,576
経常収支差額	△ 757,191
特別収支差額(資産処分)	350,000
基本金組入前当年度収支差額	△ 407,191
基本金組入額合計	△ 7,698,000
当年度収支差額	△ 8,105,191
前年度繰越収支差額	△ 34,584,699
翌年度繰越収支差額	△ 42,689,890

支出の部	
人件費支出	64,319,745
経費支出	19,884,555
借入金等利息・返済支出	863,768
施設関係支出	6,863,000
設備関係支出	1,185,000
資産運用支出	5,340,902
その他の支出	0
内部資金支出	0
資金支出調整勘定	△ 775,552
翌年度繰越支払資金	17,673,061
支出の部合計	115,354,479

【貸借対照表】

科目	本年度末
資産の部	
固定資産	269,257,380
流動資産	21,328,003
資産の部合計	290,585,383
負債の部	
固定負債	3,243,000
流動負債	1,996,574
負債の部合計	5,239,574
基本金の部	
第1号 基本金	320,322,027
第4号 基本金	7,713,672
基本金の部合計	328,035,699
繰越収支差額	△ 42,689,890
純資産の部合計	285,345,809
負債及び純資産の部合計	290,585,383

【財産目録】

科目	金額
基本財産計	150,502,112
運用財産計	140,083,271
資産の部合計	290,585,383
固定負債計	3,243,000
流動負債計	1,996,574
負債の部合計	5,239,574
差引純資産	285,345,809

(参考)

事業活動収入計 90,570,124

事業活動支出計 90,977,315

園のコメント

少子化が進み園児数の自然減はより加速して止みません。本学の建学の精神に基づく幼児教育の実現は、教育内容の充実・教職員の資質向上・優秀な人材の確保・環境教育の設備充実を進めなくてはなりません。しかし、地域の少子化による園児数の現象が進み、学園経営は大変難しい状況下であります。その中において、経営環境の改善を図り、幼児教育の重要性・子どもの人権尊重・家庭教育への寄与・地域社会への貢献を果たすべく、本学が地域の幼児教育の担い手として、また地域子育てのコミュニティーとしてその責務の重大さをあらためて認識し、日々、研鑽を重ね教育環境の充実と教職員の献身的な努力により幼児教育の振興に取り組んでまいりました。また、経営状況は計算書からも分かる通り若干ではありますが好転してまいりました。しかしながら地域の少子化は今後も進み、経営の縮小化は引き続き事が予測されます。そして、本学の立地する地域の幼児教育施設や学校施設の改廃・統合・民間移管が始まり、本学としても保育園の民間移管が決まり令和8年度からの運営を担う事になりました。その準備も近々の課題として責務はますます大きくなりました。大淵地域の期待される保育教育施設として、教職員一丸になって研鑽努力に努めることに邁進する所存です。今後ともご指導ご支援をお願いいたします。

理事長・園長 藤田道信